

研 究 者 各 位

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所大気球実験グループ長 福家英之

2027年または2028年にオーストラリアでの気球実験を希望する実験の候補
に関する情報提供要請(RFI)

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所では、JAXAの大学共同利用システムに基づき、宇宙科学研究のための成層圏気球(大気球)を利用する実験を公募し飛翔機会を提供しています。JAXAが主体となって実施する国外での気球実験計画であるオーストラリア気球実験は、大型ペイロードの10時間以上の長時間飛翔や陸上での回収を実現することができ、国内で実施する気球実験と相補的な位置づけにあります。

2024年8月28日に発出した公募(24宇航科気キ0827001)では、次回のオーストラリア気球実験計画の目途を2027年に設定しつつ、4~5年以内の実施を希望する実験提案を募集しました。

オーストラリア気球実験の実施には国内実験よりも長期の準備や大きなコストを要すること、ならびに、円安や物価高を含む近年のJAXAを取り巻く状況に鑑み、JAXA宇宙科学研究所では、オーストラリア気球実験を着実に実施し科学成果を創出するため、オーストラリア気球実験の最終公募時期を従来よりも1年前倒しすることとしました。即ち、次回オーストラリア気球実験を2027年3~5月に実施する場合の最終公募時期は2025年8~9月頃、同じく2028年3~5月に実施する場合は2026年8~9月頃となります。また、大気球実験グループでは着実な実施のため、最終公募に応募する実験提案には科学的な意義価値のみならず一定程度以上のフィジビリティ(実現可能性)として以下の条件を求めることとしました。

- (a) 次々年3~5月のオーストラリア気球実験実施に至る計画が技術的にも人員や資金の観点でも成立する見通しを得ていること。
- (b) 実験装置の重量(ゴンドラ構造体や電源などを含むJAXA大気球実験グループが提供せず搭載飛翔する物品の総重量)が最終公募への応募時の申告値から大きく変わらない(概ね±10%以内の精度である)見通しを得ていること。
- (c) JAXAが運用等の実績を有する気球を使用する実験計画であること。

以上の経緯のもと、JAXA宇宙科学研究所大気球実験グループでは、2025年8~9月頃の正式な気球実験公募発出に先立ち、2027年3~5月または2028年3~5月に次回オーストラリア気球実験の実施を希望する実験の候補について、情報の提供を求めます。提供して頂いた情報を踏まえ、次回オーストラリア気球実験(2025年8~9月頃に公募発出予定)の最速実施時期の想定を2027年または2028年のいずれかに絞り込みます。仮に最速実施時期を2028年に想定することとなった場合には、2028~2029年の実施に関する情報提供を2026年6月頃に別途お願いする可能性があります。

また、今回ご提供頂いた情報は、今後のオーストラリア気球実験に関する中期的な計画見通しを立て事業計画を立案するためにも使用しますので、2027年または2028年に実施を希望する実験は 総じて情報をご提供ください。

なお、現段階では2027年3～5月または2028年3～5月に次回オーストラリア気球実験を実施することは未確定であり、予算や他の状況等により実施が取消また延期される場合もあることをご承知おきください。

気球実験計画が採択された後の大まかな流れは、図1(最速ケース)をご参照ください。

オーストラリア気球実験の実施希望者に向けたガイドブックをご覧になりたい方は、下記第8項に記載の電子メールアドレス(技術的な問合せ先)宛にご連絡ください。

1. 情報提供要請(RFI)の概要

2027年3～5月または2028年3～5月に次回オーストラリア気球実験の実施を希望する実験の候補についてのRFI。

2. 情報提供者の要件

JAXAの大学共同利用システムを利用できる者。

3. 応募方法

情報提供書に必要な事項をご記入のうえ、後述の送付先まで電子メールにてお送りください。

情報提供書は以下の URL よりダウンロードしてください。

<https://www.isas.jaxa.jp/researchers/application/balloons/>

情報提供書はPDF化せずWord形式のままご提出ください。図表等を必要とする場合や情報提供書の記述を補足する必要がある場合は、対応関係が明らかになるようにしたうえで図表や補足内容を添付文書(PDFまたはWordファイル)とし、情報提供書と共にご提出ください。

4. RFIに際しご了解頂く条件

本RFIにあたっては、以下の条件について予めご了解のうえ、情報をご提供願います。

(1) 提供して頂いた情報の内容や規模感を踏まえ、2025年8～9月頃までに、JAXA宇宙科学研究所にて次回オーストラリア気球実験の実施時期の絞り込みを進めること。

(2) 現段階では2027年3～5月または2028年3～5月に次回オーストラリア気球実験を実施することは未確定であり、予算や他の状況等により実施が取消また延期される可能性があること。

5. 情報提供後の流れ

提供して頂いた情報の詳細について確認させて頂くため、情報提供者へのヒアリング(オンラインを含む)を実施させて頂く場合があります。

2025年8～9月頃に気球実験の公募を発出し、そのなかで次回オーストラリア気球実験の実施時期の目途をお伝えします。

6. 応募期限

2025年7月11日(金) 17時(必着)。

7. 情報提供書送付先

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 科学推進部 ISAS 公募事務局宛て

電子メールアドレス koubo-isas(アト)ml.isas.jaxa.jp ※(アト)を@にかえてお送りください。
電子メールの件名に必ず【オーストラリア気球実験RFI応募】と明記してください。

電話 070-3117-4996(奈良岡)または 070-1170-2946(東方)

※ 公募事務局は、現在テレワーク主体で勤務を行っておりますので、お問い合わせ等は極力電子メールにてお願いいたします。

8. 大気球実験に関する技術的な問合せ先(情報提供書の記入に関する質問やオーストラリア気球実験の実施希望者に向けたガイドブックの取寄せ依頼を含む)

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所 大気球実験グループ

電子メールアドレス DAIKIKYU(アト)jaxa.jp ※(アト)を@にかえてお送りください

電子メールの件名に必ず【オーストラリア気球実験RFI応募問合せ】と明記してください。

9. 情報提供に際しての注意点

- (ア) 提供して頂いた情報については、JAXA宇宙科学研究所および大気球専門委員会における次回オーストラリア気球実験に関する計画検討以外に使用することはありません。
- (イ) 情報提供書はPDF化せず、Word形式のままご提出ください。
- (ウ) ご提供頂いた資料は返却いたしません。
- (エ) オーストラリア気球実験の実施を希望する場合、本RFIに対する情報提供書を提出したとしても、JAXAが今後別途発出するオーストラリア気球実験の公募に申し込んでください。本RFIに情報の提供を頂くことだけではオーストラリア気球実験の実施候補となることが保証されるものではありません。
- (オ) ご提供頂いた内容に関して後日ヒアリングさせて頂き追加情報のご提供をお願いする可能性がありますので、情報提供の際はご連絡先を明記してください。
- (カ) JAXAが実施する気球実験では、実験申込者がペイロード部(ゴンドラ・実験装置)を用意し、JAXAは実験に適した気球の飛行運用(関係機関との調整を含む)を行います。ペイロード部に係る運用経費(試験経費、旅費、輸送等)は実験申込者の負担となります。

(最速ケース)

(20XX-2)年
8~9月

10~11月

(20XX-1)年
2~6月

7~12月

20XX年
2月~

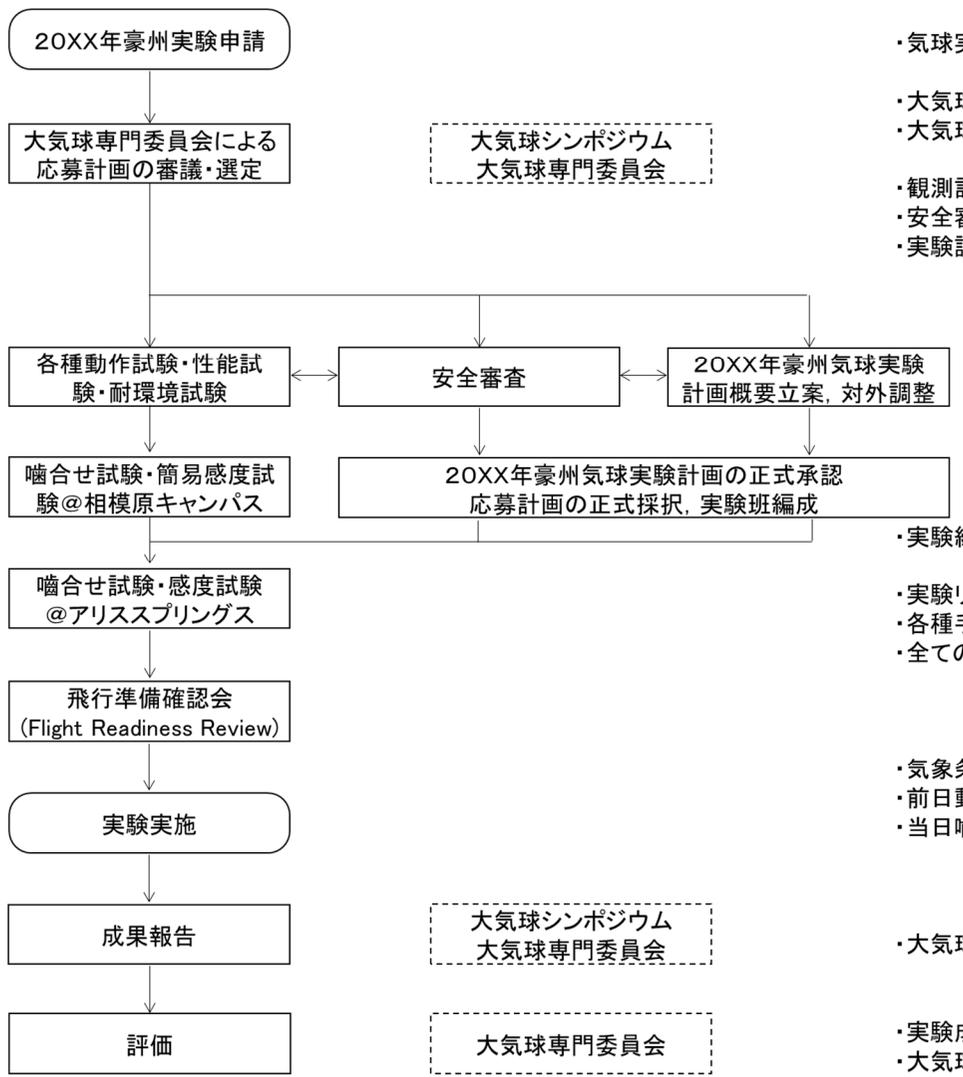
3~5月

10~11月

(20XX+1)年
1~3月

各応募者による所属機関での実験準備
各応募者所属機
関での成果纏め

大気球実験グループ
キャンパスでの実験準備
相模原
アリススプリングス
での実験準備



- ・大気球実験グループへの事前相談
- ・気球実験申込書の作成提出
- ・大気球シンポジウムでの計画発表, 質疑応答
- ・大気球専門委員会への追加説明(要すれば)
- ・観測計画調書作成
- ・安全審査資料作成, 各種手順書等作成
- ・実験説明ポスター作成
 - ・全体計画概要立案, 対外調整 (主に大気球実験グループ)
- ・各応募実験への準備支援 (大気球実験グループ)
- ・計画詳細策定(大気球実験グループ)
- ・大気球専門委員会 計画・準備確認
- ・JAXA内 実験実施計画承認
- ・実験編成会議
- ・実験リハーサル
- ・各種手順書等確定
- ・全ての安全審査AIクローズ, 安全検証作業完了
- ・気象条件適合待ち
- ・前日動作確認
- ・当日合わせ試験
- ・実施速報報告(大気球実験グループ)
- ・大気球シンポジウムでの成果発表, 質疑応答
- ・実験成果報告書の作成提出
- ・大気球専門委員会への追加説明(要すれば)
- ・研究成果フォローアップ調査に回答

図1 実験応募・採択後の大まかな流れ(オーストラリア気球実験, 最速ケース)